

キオビエダシャクの

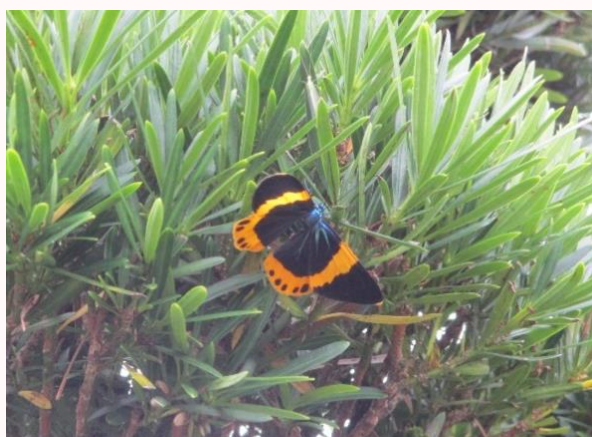
回覧

発生に注意

◆キオビエダシャクとは

- ・体長2cm、開長6cmほどの、羽に黄色の帯状の柄がある蛾。
 - ・年に4～5回出現し、朝10時(朝)と16時(夕方)によく飛び回る。
 - ・幼虫はイヌマキ(ヒトツバ)を好む。新葉、葉緑部分を食べ、葉を食い尽くすと緑枝の皮まで食害する。
- ※成虫は捕食を避けるための毒を保有します。幼虫・成虫ともに、人が触れても害はありません。

見かけませんか？



成虫



幼虫

◆発生時期

場所や気候条件等により、時期は前後します。

年間	冬			春			夏			秋		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生時期	幼虫											
	さなぎ※											
	成虫											

※冬期はさなぎとして土中で生存しています。

イヌマキの根元1～2cmの深さを掘り、さなぎに傷を付ける・冷気にあてるなどして駆除することもできます。

◆防除方法

幼虫時 噴霧器による薬剤散布(薬剤については裏面)

成虫時 網などで捕殺

※成虫は飛び回るため駆除が困難であり、薬剤の効果も薄いです。

自宅の庭木に幼虫を確認したら対策を！

効果的な薬剤

○トレボン乳剤(4000倍希釈)

- ・特徴 接触毒・食毒による作用。幼虫に直接ふりかけるようにして使用します。
- ・販売店 園芸資材店 等

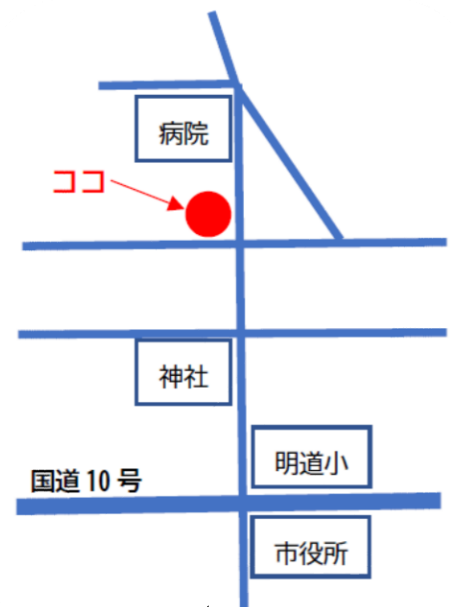
○ロックオン(1000倍希釈)

- ・特徴 食害による筋収縮(摂食活動の停止)作用。葉にまんべんなく散布すると、約3ヶ月効果が持続します。
- ・販売店 農協での予約販売 等

※既定の倍率で希釈し、噴霧器などで噴霧します。
(手の届く範囲であれば、霧吹きでも代用できます)

薬剤散布時の注意点

- ・薬剤の取扱文をよく読み、正しく使用すること。
- ・目や口に入らないように十分注意すること。
- ・使用の際は農薬用マスク、手袋、長袖、長ズボンなどを着用すること。
- ・散布の際は近隣住民に配慮し、対象以外に飛散しないように注意すること。



◆噴霧器の貸し出しについて

自治公民館単位など共同で防除を実施される際は、市が所有する動力噴霧器をお貸しします。

(薬剤・燃料にかかる費用は借用者負担)

※軽トラ等でお越しください。

※数に限りがありますので(4台)、事前に相談の上、予約してください

貸出期間 1週間(受け渡しは平日のみです)
※原則火曜日の受け渡しとします。

貸出機器 動力噴霧器・500ℓローリータンク

受渡場所 都城市八幡町別館(都城市八幡町15街区10号)
※旧法務局跡地

また、個人向けに手押し式噴霧器も一部準備しておりますが、量販店等では2千~3千円程度で販売されています。試しに使用される際は御問い合わせください。

※駆除を依頼する場合はシルバー人材センター等にお問い合わせください。



動力噴霧器



手押し式噴霧器

予約・お問い合わせ

都城市環境森林部森林保全課

TEL:0986-23-2152

FAX:0986-23-2681